

登録コード	MA725100	開講年度	2026			
授業科目名	老年看護学特論					担当教員 會田 信子 他
英文授業名	Special Lectures in Geriatric Nursing					副担当 伊澤 淳・塚田 尚子
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限 月曜・6時限	対象専攻/学年 老年看護学領域/1年次
講義室			授業形態	講義	授業科目区分	選択科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】 授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇔ MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学) 【保健学】 保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。 ⇔ 老年期にある人の健康課題について、専門的知識・技術、倫理的側面を含めて多角的にとらえることができる。 MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学) 【保健学】 保健・医療・福祉の実践現場で他の分野と連携して新たな保健医療改革に貢献できる能力を有する。 ⇔ 老年期にある人の健康課題を解決するための方策について、多職種連携の視点から多面的に検討できる。					
(2)授業の概要	老年期にある人の看護実践で派生する種々の課題について、その問題の所在を多角的に捉え理解を深めることにより、保健・医療・福祉の現場における高度な実践能力および研究能力の素地を培うことを目的とします。 ※本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。 ※本授業、担当教員の保健医療福祉職（看護師、医師）としての実務経験を活かして講義を行います。					
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	保健・医療・福祉の現場における老年看護学の諸課題について、問題の所在と背景、およびそれらを解決するための方策について検討し、多面的にディスカッションする能力を養う。					
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	1) 老年看護学領域で用いられる主要概念の理解を通して、専門職連携の意義と地域包括ケアに向けた看護実践のあり方を考察し記述できる。 2) 老年期に多くみられる疾患・障害のメカニズムと臨床的課題を説明し、看護実践のあり方を考察し記述できる。					
(5)授業計画	第01回 オリエンテーション【會田】 第02回 老年看護学領域の主要概念と看護実践①【會田】 第03回 老年看護学領域の主要概念と看護実践②【會田】 第04回 老年看護学領域の主要概念と看護実践③【會田】 第05回 老年看護学領域の主要概念と看護実践④【會田】 第06回 老年看護学領域の主要概念と看護実践⑤【會田】 第07回 老年期疾患・障害のメカニズムと臨床的課題①【伊澤】 第08回 老年期疾患・障害のメカニズムと臨床的課題②【伊澤】 第09回 老年期疾患・障害のメカニズムと臨床的課題③【伊澤】 第10回 老年期疾患・障害のメカニズムと臨床的課題④【伊澤】 第11回 エンド・オブ・ライフケアにおける看護実践①【塚田】 第12回 エンド・オブ・ライフケアにおける看護実践②【塚田】 第13回 エンド・オブ・ライフケアにおける看護実践③【塚田】 第14回 エンド・オブ・ライフケアにおける看護実践④【塚田】 第15回 総括 授業アンケートの実施【會田】 ※開講日時は受講学生と検討のうえ決定します。					
(6)授業の進め方	学生によるプレゼンテーションとディスカッションへの参加で進めます。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	【事前学習】 プレゼンターの学生は、担当範囲に関するプレゼン内容をまとめ、配付資料を作成して臨んで下さい。 非プレゼンターの学生は、該当箇所を熟読したり、必要箇所を調べたりして、不明点を明確にして臨んで下さい。 【事後学習】 その日に学んだ内容を、自分の言葉で分かりやすく説明し、実例を提示できるよう学びを深めて下さい。					
(8)成績評価の方法	成績評価は、1)プレゼンテーションの内容と発表態度60%、2)ディスカッション等への参加度40%の配分比で合計したものを最終評価とします。					
(9)成績評価の基準	成績評価の方法の配分比による合計点にもとづき、判定基準は、90-100点(秀)、80-89点(優)、70-79点(良)、60-69点(可)、60点未満(不可)とします。 1) プレゼンテーションの内容と発表態度は、下記の5項目で評価します【計100点】。 ①内容の適切性(20点)：指定課題の内容にそって、十分な情報収集や分析のもと、適切に内容がまとめられている ②構成の適切性(20点)：順序たてて論理的に構成されており、知識と自分の考え・疑問等とを区別できている ③資料の適切性(20点)：わかりやすく、見やすい表現で、図表・絵・写真などを効果的に使用している ④発表姿勢の適切性(20点)：視線や声量、話すスピードが適切・明確で、一貫性のある誠実な態度で発表している ⑤質問への対応(20点)：質問に適確・簡潔に答え、自身の不明点を明確に伝えることができている 2) ディスカッション等への参加度は、下記の4項目で評価します【計100点】。					

(9)成績評価の基準	①論理性(25点)：ポイントをおさえた論理的な意見を、結論・理由(根拠)・具体例を区別して述べている ②主体性・積極性(25点)：ディスカッションの活性化のために、建設的・真剣な態度で参加できている ③チームワーク(25点)：異なる立場のメンバーに対しても否定的・攻撃的な言語的・非言語的メッセージがなく、アサーティブな態度で参加できている ④柔軟性(25点)：価値観・意見の相違やグループ内コンフリクトなどに対して、感情的にならず建設的に向き合うことができている
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	メールでの質問・相談は随時受け付けます。 訪室する時は、事前にメールで日時調整をして下さい。 會田信子：aida@shinshu-u.ac.jp 伊澤 淳：izawa611@shinshu-u.ac.jp 塚田尚子：igarashi_naoko@shinshu-u.ac.jp
【テキスト，教材，参考書】	適宜，指示・紹介する。